

## 2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年4月27日

所属・職名	商経学部 専任講師	氏名	小谷 健一郎
研究課題	戦後日本における地方型アパレル産業の形成と発展		
研究キーワード	岐阜産地、アパレル産業、衣料縫製業、経営史、地域産業、組織能力	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>今年度は、国立国会図書館、岐阜県図書館等で研究対象である岐阜アパレル産地をはじめとしたアパレル産業史関連の文献資料を収集した。特に、1950年代以降の『繊維小売新聞』の記事を集中的に収集し、その新聞記事を基に目録化を行っている。</p> <p>また、岐阜アパレル企業の経営者及び業界関係者へのインタビューを実施した。この中には、岐阜アパレル産地の創成期に創業し、岐阜を代表するアパレル企業へと成長したS社関係者へのインタビューを実施し社内資料の提供を受けた。これらの資料に基づき、現在、企業家の経営理念の形成と組織構造の変化に着目し、当該企業を経営史的アプローチより組織能力の形成プロセスをまとめているところである。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 特記事項なし。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>岐阜アパレル産地の史実分析のため、1950年代後半から1980年代の『繊維小売新聞』の記事収集に係る文献複写料として支出した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【科学研究費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手研究：平成31年度～令和4年度、代表、課題名「岐阜産地を事例とした戦後日本における地方型アパレル産業の形成と発展」（19K13761）</li> </ul>			